

# いま、 ひろしまが 国際平和の ために できること

ひろしま 県民  
だより



第316号  
平成23年(2011年)



広島県がツイッターをはじめました!

県政情報のほか、観光やイベント、物産、食など、広島の魅力をどんどんつがやきます。県民のみなさん、ぜひフォローしてください。



twitter

66年前の8月6日、人類史上初めて原子爆弾を投下されたことにより、広島は瞬時に壊滅し、多くの尊い生命が失われました。

原爆犠牲者の御霊に、謹んで哀悼の誠を捧げますとともに、今日なお、後遺症で苦しんでおられる被爆者や、御遺族の方々に対し、心から御見舞いを申し上げます。

高齢化が進む国内外の被爆者の実情に沿った援護が受けられますよう、被爆者援護制度の更なる充実に全力を尽くして参ります。

## ■広島の実験と蓄積

広島は、人類史上初の核兵器による破壊を経験した地であるとともに、その廃墟から復興した地でもあります。

広島を訪れていただければ、核兵器による破壊の現実を目のあたりにすることで、「核兵器廃絶への信念」を持つていただくことができます。また、同時に、廃墟から復興した現在の姿を見ることで、「復興への希望と確信」を抱いていただくことができます。



広島には、世界の人々に対して、平和のメッセージを発信する力があります。

また、これまで、被爆者の尊い犠牲の上に蓄積された被爆者医療の知識や経験をもとに、HICARE(放射線被曝者医療国際協力推進協議会)によるチェルノブイリ原子力発電所事故やこの度の福島第一原子力発電所事故への支援のほか、国連機関ユニタールやJICAなどによる、復興や平和構築の人づくりなどへの貢献を続けています。

## ■広島の実務

原子爆弾を投下されたことにより亡くなられた方々、そして、今日なお後遺症により苦しんでおられる方々など、全ての被爆者の願いは、核兵器の廃絶と平和な国際社会の実現です。

私は、今こそ、核兵器廃絶と平和な国際社会の実現に向けた一歩を、ここ広島から進めていかなければならないと考えています。

それは、被爆者の思いに応えるためであるとともに、現在の広島で平和がもた

らす幸福と繁栄を享受している私たちの責務であると考えています。

## ■ひろしまを平和の拠点に

私は、被爆地の知事として、広島の実験や力をもとに、核兵器のない平和な国際社会を築くため、広島を拠点に、平和を願う世界の人々の共感と賛同を得て、国際平和の実現に向けた実践的な取組を推し進めていきたいと考えています。

このため、世界の有識者をメンバーとする「国際平和拠点ひろしま構想策定委員会」を設置し、「世界の中の広島」という観点から、国際平和の実現に向けて広島が果たすべき新たな使命や役割を検討いただいています。

世界のリーダーや研究者、そして、NGOなどが集い、核兵器廃絶や平和な国際社会の実現に向けた幅広い活動が活発に展開される、「国際平和拠点ひろしま」の実現に向けて、力を尽くして参ります。

広島県知事

湯崎英彦